

I 本時の学習

(1) 目標 問いや筆者の主張など、表現の工夫に気づき、3部構成（初め・中・終わり）をとらえさせる。（思①）

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図・内容・方法等)
き 導 入	7 分	<p>1 めあてをつかむ</p> <p>①問いや筆者の主張は、何段落なのか確認する。 ◇筆者の主張は、③と⑧段落にあったから、双括型だったな。問いは③段落にあったな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【めあて】 「アップとルーズで伝える」の段落相互の関係をとらえよう。</p> </div> <p>② ①～③、④～⑥段落には、「対比」を使い、表現の工夫を筆者が書いていたが、他にも表現の工夫があるのか問いを持つ。</p> <p>◇残りは、⑦と⑧だな。どんな表現の工夫があるのかな。それを見付けると3部構成も分かるんじゃないかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】 筆者の問いや主張から、（初め・中・終わり）に分け、どんな表現の工夫があるか考えよう。</p> </div>	<p>○単元のゴールである「説明文の表現の工夫を学習している意味」を確認する。</p> <p>（「問い」を生み出す手立て等）</p> <p>○「対比」は、反対の具体例として挙げるときに使う表現の工夫だということを押さえ、⑦段落はどんな例としてあげられているか問う。 （見方・考え方を働かせて課題解決に向かう方向付け）</p> <p>○説明文には、「考え」と「具体例」がどの段落に書かれているか確認すると3部構成が分かることを伝える。 （課題解決に向けた見通しを持つ手立て）</p> <p>○振り返り表をノートに貼り、単元の見通しを、本時では、黒板に「きよらっこ学習過程のカード」+振り返りの視点を示しておく。</p>
よ 展 開 ら	10 分 20 分	<p>2 課題の解決に向けて活動する</p> <p>①3部構成に分け、その根拠をノートに書く。 ◇①～③、④～⑥は同じまとまりだから、くっつけて考えよう。</p> <p>②グループで話し合い、根拠を持って一つの結論を出す。 【①自己存在感】 ◇なぜ、そのまとまりに分けたか納得できる理由は何だろう？ ◇「このように」という言葉は、今まで終わりに出てきたけれど、筆者の主張は⑧段落だから、どこで分けようかな？</p> <p>③3グループの結論を出し合い、全体で3部構成を考える。 【②共感的な人間関係】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 3人の段落分けの仕方や根拠を伝え、認め合いながら結論を導き出すとしている。</p> </div>	<p>【到達していない児童への手立て】</p> <p>○①～③、④～⑥は同じまとまりに分かれることを確認し、残りの⑦と⑧段落は、どのまとまりか当てはめさせる。（個に応じた支援）</p> <p>（課題解決に粘り強く取り組もうとするための手立て）</p> <p>○南小国町共有ビジョンをもとにプレゼンテーション（南小国かるた）を作成するにあたり、自分の考えを納得してもらうには具体例をどのように書くか工夫していく必要感を持たせる。 （言語活動の設定及び設定の意図）</p> <p>○「司会者」「記録者」「発表者」の役割を自覚し、筆者の主張や問い・接続詞からどんなまとまりになるのか、質問をしたり、意見の共通点や相違点に着目したりすることで結論に到達させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【具体的評価規準】 観点 ○【思①】 段落相互の関係や⑦段落の類比的表現の工夫に気づき、3部構成をとらえることができる。（方法：ワークシート・発表）</p> </div>
こ 終 末	8 分	<p>3 学習課題に対する答えのまとめを行い、振り返りの視点を決めて書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【まとめ】 ⑥段落に「このように」という言葉はあるが、④と⑤をまとめているので、中になる。⑦も、テレビ以外の例を出しているという表現の工夫（類比）があるので、これも中。つまり、終わりは⑧段落だけである。</p> </div> <p>◇なるほど・・・今まで「このように」があれば、終わりと思っていたけれど、前の段落をまとめる意味があるから、終わりとは限らないな。</p>	<p>○3グループで出た根拠をもとに、まとめを児童の言葉でつないで書く。</p> <p>○振り返りの視点として「4C」の中で自分が育成した項目を選ばせ、「なぜ」「なるほど」「もっとやってみよう」と思ったことを書かせる。 【③自己決定】</p>